

## 式辞

「風光り すなはちものの みな光る」

「風光り すなはちものの みな光る」(鷹羽狩行 たかは しゅぎょう)

春は風が光っています。万物すべてが光っています。新入生の皆さんも光っています。輝いています。ここにいるすべての皆さんも光っています。

こうした光り輝く春のよき日に、たくさんのご来賓の皆様のご臨席たまわり、さらに、多くの新入生保護者の皆様のご出席を頂戴し、春日部市立東中学校第55回入学式を挙行できますことに、衷心から御礼と感謝を申し上げます。

ただいま、呼名をもって確認させていただきました203名の新入生の皆さん、東中学校という、春日部市でも屈指の歴史と伝統のある本校への入学、おめでとうございます。本校教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。また、本日の入学をお喜びの保護者の皆さまに、心よりお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは今日から中学生です。そこで、私からお祝いの言葉として、2つのお話をしたいと思います。

1つは、創立55年という歴史の重みと、学校教育目標の目指す生徒としての姿のことです。

2つ目は、年度の初めの4月という月について話します。

では、1つ目です。

春日部市立東中学校は今年、開校55年目を迎えます。半世紀ののちにさらに5年が経過しました。この55年という歴史は、ある意味、人の一生をも超える数字です。これが、70年、100年と続くことを願いながら、母校の誇りを胸に、毎日を生活してください。そして、学校教育目標の目指している生徒の姿、「意欲ある生徒」「協力し合う生徒」「責任を果たす生徒」「感謝のできる生徒」「夢をもつ生徒」の五つを忘れないことです。忘れないためにも、今年は次の言葉を使いたいと思います。「55東中が一番」です。そこには、学校教育目標に重ねた、次のような5つの意味を持たせています。

1 55は、創立55年の55です。

2 55は、英語のGOGOです。何事も意欲的に前向きに取り組みましょう、ということ。 「意欲」です。

3 55は、「合合（あわせるという文字を二つ重ねてごうごう）」です。これは力を合わせるで、「協力」です。

4 55は、「郷郷（ふるさとの郷を二つ重ねてごうごう）」です。ふるさとへの感謝を忘れないでいようということです。「感謝」です。

5 55は、「剛剛（つよいという文字をふたつ重ねてごうごう）」です。つよい責任感で、夢に向かって頑張ろうという意味です。「責任」と「夢」です。

大きな2つ目のお話に変わります。4月という月はどんな月なのか、詩にしてみましたので、それを読みます。

4月は希望を語る月です。

4月は夢を抱く月です。

4月は志を確かめる月です。

希望や夢や志は、目的になり、目標になり、  
やがて、それは課題となって、いつか必ず現実になります。

4月はその出発の月です。

誰かが言いました。責任とは、夢から始まる生き方だと。

夢から責任は始まります。

In dream begin the responsibilities.

みなさんの夢を応援します。

これら2つのお話は、今日発行の『学校だより4月号』にも書かせていただきました。あとで読んでください。

では、まとめをします。

1 「55東中が一番」、意欲・協力・責任・感謝・夢の5つを忘れないようにしましょう。

2 4月は希望の月です。

これを中学校入学のお祝いの言葉としてみなさんに贈ります。今日からいっしょにがんばっていきましょう。

さて、保護者の皆さま、本日の入学の喜びはひとしおであろうと想像いたします。お子様のご誕生から幼稚園・保育園への入園・卒園、小学校入学、そして、卒業。今また、中学校への入学と、日に日に成長するわが子の姿は、親としての喜びであり、楽しみでもあろうと思います。今日からは中学生、つないだ手を離して、じっと様子を見守って行ってください。「手を離して、目を離さない」姿勢をお願いします。

20数年ぶりに復刊された本、『父という余分なもの』の著者、前京都大学学長の山極寿一先生は、その著作のなかで、次のようなことを述べられています。

「集団のために尽くしたいと思う心は、子供時代にすべてをなげうって育ててくれた親や隣人たちの記憶に支えられている」という内容です。その記憶が私たちの代で途切れないように、すべてをなげうつ姿を、子どもたちの記憶に刷り込んでまいりましょう。

中学生という精神的に難しい時期を、学校とともに共同で子育てをしていきましょう。そして、保護者の皆様、地域の皆様、本校教職員と一致団結して、みなさんで東中学校の生徒たちを将来の宝として育てていきましょう。そのために、いつでも本校の職員にご相談ください。また、小学校の先生がたとも連携・協力してまいります。そうして、地域の子どもたちの成長の支援ができればと考えています。どうかよろしく願いいたします。

結びにあたり、本日ご多用のなか、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様には、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

先ほども申し上げましたが、今年度本校は55回目の春を迎えることができました。次の60年目には、東京オリンピックも終えた時代に入っています。時代感覚を研ぎ澄まし、新たな意識で、新しい時代に沿った中学校教育を進めて参ります。これからも、東中学校を地域の学校としてご支援賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

平成28年4月8日

春日部市立東中学校 校長 船田年男

※ 原文は漢数字で統一していますが、本文書は算用数字を使用しています。